

# 共済会 信用生協

20年のあゆみ  
はたち



財団法人 岩手県民共済会  
岩手県消費者信用生活協同組合

財団法人岩手県民共済会

理事長 今野 怜 二



お蔭様をもちまして、私ども財団法人岩手県民共済会は、本年創立20周年を迎えることができました。

省りみますと、この20年の間には激動する社会・経済状況のなかで厳しい試練への遭遇もありましたが、事業概要でもお示しの通り、今日地域共済として一定の基盤をもちうるに至っております。

これもひとえに、岩手県関係部課をはじめ、労福協・全労済岩手県本部・岩手県労連・岩手労働総同盟のご指導のもとに、関係団体の皆様のご支援ご協力の賜ものであり、改めて厚く御礼申し上げます。

20周年の節目に立つ県民共済会にとりましての課題は、事業基盤の一層の強化とあわせ会員サービスの充実につとめ、よりよい共済制度の開発普及とともに、高令化社会に対応するとりくみを推進し広く県民福祉の増進に寄与することであると信じます。

このことを肝に銘じ、21世紀に向って役職員一同決意を新たに精進努力して参りたいと思っておりますので、今後とも関係皆様の旧に倍するご指導ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

岩手県消費者信用生活協同組合

理事長 阿波 克 夫



当生協は、設立目的であります「組合員の生活の文化的経済的改善向上」をめざして取組んできました。数多くの先輩役職員のご努力並びに岩手県をはじめとする関係諸団体のご支援ご協力によって、こんにち20周年を迎えることができました。ここに、衷心から御礼申し上げます。

創業当時は、消費者金融機関が雨後の筍のように出現し、その利用によって、生活が乱れ、職場を追われる被害が続出して、社会問題化していました。

その後20年経過するこんにちも、消費者金融をめぐる「トラブル」や「家庭生活の破壊」等の被害は、潜在化しております。救済の道を求めている状況は、当生協に寄せられています相談からも明らかです。

今年度、盛岡市から2,000万円を預託いただき「消費者救済貸付制度」を発足させることができました。時宜を適切にとらえた措置に敬意を表しつつ、深く感謝申し上げます。今後は、岩手県をはじめとして、近隣市町村からのご理解をいただきながら「消費者の金融被害救済と生活安定向上に」なお一層貢献していく決意でございます。

今日までの20年間の業績を着実に発展させるべく、役職員一同努力してまいりますので、各位の変らざるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

もくじ

ごあいさつ	1
祝 辞	2
20年のあゆみ	4
共済会の主なあゆみ	5
信用生協の主なあゆみ	8
20周年記念イベント	9
表彰(団体・個人)名簿	10
現 況	
共 済 会	11
信用生協	12
歴代役員一覧	
共 済 会	14
信用生協	16

# 祝 辞



## 岩手県知事 中 村 直

財団法人岩手県民共済会及び岩手県消費者信用生活協同組合が、創立20周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

両法人は、地域住民、あるいは組合員が健康で文化的な生活を営むことのできる社会環境を作ることを目的として昭和44年に設立され、爾来、役職員並びに組合員各位のたゆまぬご努力により、今日の隆盛を迎えられましたことは、誠に慶賀に堪えないところであります。

今日、私たちの暮らしは、経済社会のサービス化、情報化、国際化、あるいは人口の高齢化など、様々な環境変化に直面し、これに伴い、消費者取引も益々多様化、複雑化してきているところであります。

このような中で、地域住民や組合員の生活の改善向上を図る両法人が果たすべき役割は、益々重要になってきており、この20周年を契機として、さらに発展されますことを祈念いたしましてお祝の言葉いたします。



## 岩手県労働者福祉協議会 会 長 小 原 武 郎

県民共済会、信用生協の創立20周年を心からお祝い申し上げます。

両事業団体は、全労済より発展的に分離、独自して創設以来今日まで、組織労働者の共済事業はもとより地域を中心とした未組織勤労者の共済事業や信販、サラ金などのいわゆるノンバンクへの対応と消費者の保護、救済等を通じて果してきた役割は極めて大きいものがあり、努力されてきました役職員に敬意を表します。

労働福祉運動も金融の自由化や高齢化社会への時代を迎え、これからは一層多様化するニーズへの対応、地域、未組織勤労者への働きかけなど、活動の広まりと強化が求められています。したがって、20周年の実績を基盤に関係団体との連携を深めつゝ、それらの期待と社会的役割を併せた事業の発展がなされますよう心から期待いたします。

# 祝 辞



## 設立時代表者 初代理事長 渡 辺 長 福

岩手県民共済会は財団法人として、信用生協は生協法人として昭和44年2月岩手県知事の認可を得て発足してから、20周年の記念すべき日を迎えられ誠に慶賀に堪えません。心からお祝いを申し上げます。

この会及び生協は、岩手労済の寄附行為によって設立されたものであり、労働者の福祉向上と県民の消費生活水準の向上をはかり、健康な精神の創造と地域社会の発展に貢献するため創立されたものであります。

今日に至るまでの道のりは決して容易なものではなかったと思いますが、役職員ならびに関係者各位のご努力によって現在を迎えたものであり、心から感謝して止まないものであります。現在国内的にも国際的にも大きく社会が激動しつつありますが、働く人達の生活防衛運動と地域住民の健康と暮らしを守る組織として一層事業の充実を図り、県民のニーズに応える共済会と信用生協をご期待します。

## 共済会の目的

地域住民の消費生活、福利厚生に関する諸問題を調査研究し、健康で文化的な生活を営むことのできる社会環境を育成することを目的とする。

## 信用生協の目的

相互扶助と協同の精神にもとずき、組合員の生活の文化的、経済的改善向上を図ることを目的とする。

## 県民共済会設立趣意書（抜すい）

戦後20余年にわたるめざましい発展をとげて来た日本の経済は1955年以來の高度経済成長政策の結果、67年ついに国民総生産36兆6614億円に達し、アメリカ、西ドイツにつぐ世界第3位という高成長をとげました。

しかし、国民所得1人あたりの国際比較においては依然として世界第21位という低位におかれています。(略)

わが国においては社会保障、福祉の向上を組織的に推進する運動はきわめて不十分であり、このような弱い消費者の声は社会の底辺にかき消されがちであり私たちは団結して国民の権利としての社会保障の拡充、消費者主権を守る運動をすすめなければなりません。

従って私たちは、これらの目的を達成するために

1. 消費生活問題の調査研究とその推進
2. 福祉厚生問題の調査研究とその推進
3. 労働者福祉教育の振興およびこれらの団体に対する助成
4. 労働者およびその家族の休暇ホームの建設
5. 講演会、研究会の開催

などを通じて健全な労働者のレクリエーション活動、消費者教育の活動を実施するとともに、将来は厚生年金の還元融資による積極的な活用を行っていかねばならないと思います。(略)

以上の観点に立って、ここに財団法人岩手県民共済会の設立の趣旨をあきらかにし、皆様に全面的な御協力、御支援をお願い申し上げます。

### 公益法人設立許可書

岩手県指令県民第47号

設立代表者 岩手県盛岡市菜園  
2丁目2番8号  
渡辺長福

昭和43年11月8日付で申請のあった財団法人岩手県民共済会の設立については、民法(明治29年法律第89号)第34条の規定に基づき許可します。

昭和44年2月6日

岩手県知事 千田 正

## 信用生協設立趣意書（抜すい）

消費諸物価の異常な上昇と生活構造の多様化進歩のなかで大企業中心の政策のひずみは中小企業の経営を圧迫し、消費者の生活を苦しめています。

生活の改善向上を願い、勤労の余暇を楽しくすごす計画、楽しい我が家の建設を考えると、国民として等しく与えられた権利です。

しかし、労働組合にも、生活協同組合にも保護されない孤立した消費者、一般市民にとっては、これらの願望を補ってくれる公庫、銀行、労働金庫など市中の金融機関は縁遠い存在であり、いきおい小口高利金融業者に依存せざるを得ないのが現状です。(略)

私たちは、今こそ弱い力を結集して、協同の力を確立し、岩手県消費者信用生活協同組合を設立して、明るいより豊かな生活を築く運動をすすめましょう。

「一人が万人のために、万人は一人のために」の協同の精神にもとづいて消費者、一般市民の皆さんが積極的にご参加下さることをお願いいたします。

## 共済会の主なあゆみ

昭和43年11月8日	公益法人設立許可申請、岩手労済より拠出の300万円の基本財産(盛岡市菜園二丁目2番8号)	昭和54年6月	医療扶助共済抜本改訂
44年2月6日	公益法人設立許可(設立代表者渡辺長福)	8月	会計年度を6月から5月に改める
44月10月	県民火災共済(満期返戻式火災共済)の事業継承(岩手労済の定款変更)	55年8月	自動車共済、相互扶助共済を全労済に移行、統合
45年7月	「労済海の家」開設		交通災害共済の年次移行開始(組織問題特別委員会答申)
47年8月	火災共済10年満期式から8年満期式に改正	10月	福祉政策策定委員会設置
// 12月	事務所を盛岡市大沢川原二丁目2番32号(岩手労働福祉会館)に移転	56年6月	岩手県民共済会の中期的事業展望と課題答申(福祉政策策定委員会)
49年4月	職員8名採用、自立体制に向け基盤強化	12月	事務所を現在地(盛岡市山王町10番6号)に移転。
50年11月	相互扶助共済岩手労済より事業継承	57年7月	家庭医薬品の配置販売業認可(薬品センター開設)
51年4月	第1回評議員会の開催	10月	ファミリー医療共済実施
7月	奨学資金制度発足	58年8月	冠婚葬祭共済(ふれあい)開発実施
10月	無料法律相談実施	59年6月	医療扶助共済制度抜本改訂(限度引上)
52年1月	満期式火災共済を5年に改正	10月	自治体提携型共済料率改訂
12月	消費生活問題研究会発足	61年5月	創立15周年記念行事実施
53年12月	岩手県民共済会館竣工	6月	家庭医薬品の配置販売業を(尙北信)に事業譲渡
	事務所を盛岡市南大通二丁目10番38号に移転	63年1月	傷害入院共済開発実施
	医療扶助共済制度の開発、実施	6月	全通医療共済制度移管
	自動車共済制度の受託実施(単産共済連合会との提携)	6月	医療扶助共済制度死亡弔慰金特約実施
	盛岡市中小企業勤労者共済会設立	平成元年5月	シルバートータルケア構想(仮称)の調査研究
	山王ハイイツ竣工(ホテル山王オープン)		20周年謝恩イベント実施
	組織問題特別委員会設置(県内に於ける労働者共済運動の任務の分担と明確化を目的として)	7月	記念囲碁・将棋大会
		11月	ゴルフコンペ
			親子映画の会(釜石、水沢、盛岡)
			高齢化社会をプラス発想で考えるフォーラム
			謝恩バザール(信用生協)

## 共済会の主なあゆみ

### <共済加入状況の推移>

年度	共済名	交通災害共済	満期返戻式 火災共済	相互扶助共済	自動車共済	医療扶助共済	自治体 提携型共済	冠婚葬祭共済	傷害入院共済	合計
	推移	S.44.10 事業継承 S.55.8一 年次移行 開始 S.59.5 移行終了	S.44.10 事業継承	S.49.4 事業継承 S.55.8 事業移行	S.52.1 提携実施 (全国単産 共済連合会) S.55.8 事業移行	S.51.10 開発実施	S.52.12 設立実施 (盛岡市中小 企業勤労者 共済会)	S.58.8 開発実施 S.60.12 受付停止	S.61.6 開発実施	
S.45.3.31	件	33,236	8,531							41,767
	口	42,259	52,311							94,570
S.49.9.30	件	75,160	8,258	8,690						92,108
	口	110,746	50,489	8,690						169,925
S.54.9.30	件	70,261	6,386	10,254	4,021	25,608				116,530
	口	216,671	139,526	10,254		25,608				392,059
S.59.5.31	件	12,000	6,867			23,780	813	119		43,579
	口	216,640	146,641			24,550	813	119		388,763
H.1.5.31	件		76,554			38,731	903	128	7,580	123,896
	口		190,901			91,245	903	128	19,299	302,476
H.1.9.30	件		72,500			39,032	921	92	9,065	121,610
	口		209,469			98,123	921	92	27,503	336,108

上段—件数 下段—口数

単位：円

### 資産・負債 の推移

	総資産(A)	負債(B)	正味財産(A-B) (基本金、剰余金)
昭和44年9月30日	148,596,862	143,511,316	5,085,546
昭和49年9月30日	522,091,135	490,716,666	31,374,469
昭和54年9月30日	1,672,545,439	1,633,821,914	38,723,525
昭和59年5月31日	2,022,781,186	1,950,668,358	72,112,828
平成元年5月31日	2,549,563,608	2,424,360,384	125,203,224

## 共済会の主なあゆみ

### 基本金の推移

設立時	(昭和43年11月8日)	認可申請	
	(昭和44年2月6日)	設立許可	300万円
第6期	昭和49年9月30日	変更	1,000万円
第8期	昭和51年9月30日	変更	1,500万円
第9期	昭和52年9月30日	変更	4,400万円
第11期	昭和54年9月30日	変更	5,600万円
第13期	昭和56年5月31日	変更	7,000万円
第14期	昭和57年5月31日	変更	1億円
—現在に至る—			

### 20周年記念イベントより

あいさつをする今野理事長



白熱の囲碁会場

信用生協の主なあゆみ

年月日	主な動き (事業他)	組合員数	出資金残高	貸付金残高
昭和				
44	8月6日 消費生活協同組合法による設立認可申請	348名	174,000円	—
	8月22日 同上設立認可			
	11月1日 盛岡市菜園二丁目2番8号にて業務開始			
50	3月1日 「満期火災共済契約者貸付制度」事業開始	1,034名	891,000円	38,742,267円
51	2月10日 盛岡市大沢川原二丁目2番32号に事務所移転	1,455名	1,240,500円	39,729,896円
	7月22日 盛岡市南大通二丁目10番38号に事務所移転			
56	8月1日 「自動車クレジット」業務開始	1,116名	2,808,000円	255,217,000円
	12月15日 盛岡市山王町10番6号に事務所移転			
57	6月1日 サラ金の社会問題化が顕著となりその対策推進	1,275名	5,998,500円	381,564,000円
58	11月1日 サラ金規制二法施行	1,520名	11,515,500円	462,114,000円
60	3月1日 「組合員ローン」事業開始	1,926名	21,274,000円	610,811,443円
61	3月1日 「歯科ローン」事業開始	2,027名	23,907,500円	548,117,784円
	12月1日 「運転免許ローン」事業開始			
62	5月1日 「コープカード」事業開始	2,868名	105,648,000円	977,261,801円
63	1月1日 労働組合互助会事業移管	3,362名	116,904,500円	1,148,075,293円 (平成元年5月末現在)
平成				
1	4月1日 「盛岡市消費者救済資金貸付制度」事業開始	—	—	—
	7月11日 「宅地建物取引業」事業開始			

20周年記念イベント各地で大好評!

囲碁・将棋、ゴルフ、親子映画会

そして謝恩バザール、シルバー  
フォーラムを実施。

女流プロ棋士も招待し、熱のこもった大会となった。

本年20年（はたち）を迎え、これまで育てていただいた皆様に感謝をこめて、「20周年記念イベント」を各地で開いてきました。

5月13日の「囲碁・将棋大会」をスタートに、「記念ゴルフコンペ」(5/20)、「親子映画会」を釜石(7/2)、水沢(7/9)、盛岡(7/16)それぞれの会場で行いました。そして、信用生協の20周年と県民生協中央店新装オープンを記念した「謝恩バザール」を11月3・4・5日に開き、市民の好評を博しました。また11月8日には、これまでのシルバートータルケア構想との関連で、「シルバーフォーラム」を盛岡市で行い、多くの方々の関心を得ることができました。

この20周年記念事業をひとつの節目に、今後さらなる発展を期します。



▲18チーム82人が参加し、笑い声もまじえて楽しいプレー。



▲定員を超える応募もあり、3会場（釜石、水沢、盛岡）とも大盛況。



講師のパネルディスカッションを通じて、いろんな面で学ぶことが多い有意義な一日となった。



▲県民生協中央店新装開店と併せたバザール。家族づれの市民で大賑わい。